

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	育てたい資質・能力	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点		
方針・挑戦し続ける根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを実感できる授業への挑戦 ②「なりたい自分」へ向かう個の見届け・一人ひとりの子に居場所をつくる	③地域との協働・地域社会への発信 ④生き生きと働ける学校づくり	心身ともにたくましく 進んで実践する子 やさしい子 かんがえる子 やりぬく子	明日も来なくなる学校	② どの子にも居場所がある学校づくり	学校が楽しいと答える児童100%	B	・「学校が楽しい」という肯定的な回答をした児童は昨年度より3ポイントアップの93%、「学校は安心して過ごせる場所である」と回答した児童は92%であった。「なりたい自分」に向けた個々の成長を認める取組や、定期的な心のアンケートに基づいた教育相談による個々に寄り添う支援の成果であると考えます。 ・一方で、「楽しい」と回答できない児童が7%いることから、100%を目指し、個別支援を行っていく必要がある。 ・「自分にはよいところがある」と答えた児童は昨年度より3ポイント上昇し89%で、また、「なりたい自分に向かって努力している」と答えた児童は93%であった。ひびきあいカードによる互いの良さを認め合う取組や、自分たちで企画・運営した縦割り班活動の充実の成果であると考えます。今後も、子どもたち自身で新たな活動を生み出す営みを増やしていく必要がある。 ・児童会を中心とした挨拶活動により、自ら挨拶する意識が高まり、89%の児童が「進んで挨拶ができています」との回答を得た。 ・日課の見直しを行い、職員の資質・向上をめざした定期的な職員研修の実施ができた。それにより、職員同士で対話する時間を生み出すことにつながり、同僚性を高めることができた。		
						マイサポーター制度や教育相談の充実を図り、学校は安心できる居場所であると答える児童100%	B			
					② 互いのよさを認め合い、一人ひとりを尊重できるよりよい人間関係づくり	児童会を中心とした挨拶活動を展開し、自分から進んで挨拶ができると答える児童75%	A			
						互いのよさを認め合う活動を仕組み、「自分には良いところがある」と答える児童90%	B			
					②④ 安全・安心な学校の基盤となる危機管理の徹底と組織的な対応及び業務改善の推進	縦割り活動での異学年交流や子どもたちのアイデアを生かした児童会活動の充実を図る。	B			
						教育相談やアンケート等を定期的実施し、問題発生時には組織で対応し、早期対応・早期解決に努める。 職員が毎日元気に子どもの前に立てるよう、働きがいのある職場づくりを推進する。	A			
				② 試行錯誤しながら、目標に向かってあきらめず挑戦する	自己目標の定期的な振り返りを行い、「なりたい自分」に向かって頑張っていると答える児童90%	A				
					子どもに投げかけ、主体的に考えさせる学級経営や児童会活動を推進する。	B				
				力をつける学校	① 自ら学びに向かう力を育成し、学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業の創造	① 確かな学力の定着をめざした授業展開の工夫や授業改善	① 主体的・対話的で深い学びに向けた職員の授業力向上 ③ 郷土愛をはぐくむ総合的な学習の時間 ④		興味関心をもてる導入の工夫を行い、「授業が楽しい」と答える児童80%	B
									自己を表出できる場の工夫や自己選択、自己決定の場を工夫し、学びに向かう力の育成に努める。	A
									算数の授業において、NewGifuweblearningの利活用の推進と少人数指導の充実を図る。	A
									分からなさを自然に出し合える学習集団づくりを進め、「授業がわかる」と答える児童80%	B
教材研究の日の設定や中学校との合同授業研究会(小中連携)を実施し、職員の授業力向上に努める。	A									
農業生産活動を中核として、地域の方を講師に招き、郷土への思いや生き方を学ぶ機会の充実を図る。	A									

学校運営協議会における主な評価内容

・どの授業でも落ち着いて学習に向かう姿勢があり、安心して授業参観することができ嬉しい。ICTの活用により、多様な学びが提供されていると感じる。今後も、ICTとアナログの両面を大切にしながら、より有意義な学びとなるよう子どもたちの力を伸ばしていただきたい。
 ・地域の方を講師として、地域の特色を学ぶ活動が充実していることが嬉しい。こうした営みが地域に愛着をもち、地域を担う子どもたちにつながることを願っている。また、子どもたちの挨拶の意識が高まったと感じる。地域ぐるみで挨拶を今後も大切にしていきたい。